



2026年3月期 決算短信〔IFRS〕（連結）

2026年5月13日

上場会社名 株式会社ラウンドワン 上場取引所 東
 コード番号 4680 URL <https://www.round1-group.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉野 公彦
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 岡本 純 TEL 06-6647-6600
 定時株主総会開催予定日 2026年6月27日 配当支払開始予定日 2026年6月29日
 有価証券報告書提出予定日 2026年6月26日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期の連結業績（2025年4月1日～2026年3月31日）

（1）連結経営成績

（%表示は対前期増減率）

| | 売上収益 | | 営業利益 | | 税引前利益 | | 当期利益 | | 親会社の所有者に 帰属する当期利益 | | 当期包括利益 合計額 | |
|----------|---------|------|--------|-----|--------|------|--------|-----|----------------------|-----|---------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2026年3月期 | 189,548 | 7.1 | 28,773 | 9.7 | 25,418 | 10.5 | 16,621 | 7.9 | 16,621 | 7.9 | 19,680 | 31.8 |
| 2025年3月期 | 177,057 | 11.2 | 26,240 | 6.2 | 23,007 | 6.2 | 15,405 | 5.1 | 15,405 | 5.1 | 14,936 | △16.9 |

| | 基本的1株当たり 当期利益 | | 希薄化後 1株当たり当期利益 | | 親会社所有者帰属持分 当期利益率 | | 資産合計 税引前利益率 | | 売上収益 営業利益率 | |
|----------|------------------|----|-------------------|----|---------------------|-----|----------------|---|---------------|---|
| | 円 | 銭 | 円 | 銭 | % | % | % | % | 円 | % |
| 2026年3月期 | 63 | 30 | 63 | 27 | 22.2 | 8.2 | 15.2 | | | |
| 2025年3月期 | 57 | 38 | 57 | 22 | 23.3 | 8.9 | 14.8 | | | |

（参考）持分法による投資損益 2026年3月期 400百万円 2025年3月期 279百万円

当社グループの業績の有用な比較情報として、EBITDA及び調整後EBITDAを開示しております。
 EBITDA及び調整後EBITDAの計算式は以下のとおりです。

EBITDA 計算式：営業利益 + 減価償却費

2026年3月期 72,049百万円

2025年3月期 68,093百万円

調整後EBITDA 計算式：営業利益 + 減価償却費 + 非支出費用

2026年3月期 73,490百万円

2025年3月期 70,828百万円

（2）連結財政状態

| | 資産合計 | 資本合計 | 親会社の所有者に 帰属する持分 | 親会社所有者 帰属持分比率 | 1株当たり親会社 所有者帰属持分 |
|----------|---------|--------|--------------------|------------------|---------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2026年3月期 | 309,888 | 82,635 | 82,635 | 26.7 | 312.47 |
| 2025年3月期 | 259,914 | 66,883 | 66,883 | 25.7 | 253.94 |

（3）連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|----------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2026年3月期 | 60,461 | △31,249 | △26,147 | 54,950 |
| 2025年3月期 | 63,955 | △23,992 | △25,088 | 51,154 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 親会社所有者 帰属持分配当 率 (連結) |
|---------------|--------|--------|--------|------|-------|---------------|--------------|----------------------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 | 銭 | 円 | 銭 | 円 | 銭 | 百万円 | % |
| 2025年3月期 | 4.00 | 4.00 | 4.00 | 4.00 | 16.00 | 4,282 | 27.9 | 6.4 |
| 2026年3月期 | 4.50 | 4.50 | 4.50 | 4.50 | 18.00 | 4,727 | 28.4 | 6.4 |
| 2027年3月期 (予想) | 4.50 | 4.50 | 4.50 | 4.50 | 18.00 | | 25.9 | |

3. 2027年3月期の連結業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

| | 売上収益 | | 営業利益 | | 税引前利益 | | 当期利益 | | 親会社の所有者に 帰属する当期利益 | | 基本的1株当たり 当期利益 |
|-----------|---------|------|--------|------|--------|------|--------|-------|----------------------|-------|------------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | |
| 第2四半期（累計） | 103,730 | 12.8 | 15,010 | 0.4 | 12,220 | △8.5 | 7,900 | △10.8 | 7,900 | △10.8 | 円 銭 30.05 |
| 通期 | 219,090 | 15.6 | 33,050 | 14.9 | 27,450 | 8.0 | 18,260 | 9.9 | 18,260 | 9.9 | 69.46 |

※ 注記事項

（1）期中における連結範囲の重要な変更：無

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRS会計基準により要求される会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：有

（注）詳細は、添付資料P.14「3. 連結財務諸表及び主な注記（5）連結財務諸表に関する注記事項（会計上の見積りの変更）」をご覧ください。

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

| | | | |
|----------|--------------|----------|--------------|
| 2026年3月期 | 289,161,942株 | 2025年3月期 | 288,477,042株 |
| 2026年3月期 | 26,289,269株 | 2025年3月期 | 26,288,775株 |
| 2026年3月期 | 262,583,659株 | 2025年3月期 | 268,511,034株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 2 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 3 |
| (4) 今後の見通し | 4 |
| (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 | 4 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 6 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 7 |
| (1) 連結財政状態計算書 | 7 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 9 |
| 連結損益計算書 | 9 |
| 連結包括利益計算書 | 10 |
| (3) 連結持分変動計算書 | 11 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 13 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 14 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 14 |
| (会計上の見積りの変更) | 14 |
| (セグメント情報) | 14 |
| (1株当たり情報) | 16 |
| (重要な後発事象) | 16 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、物価上昇の継続による実質所得の伸び悩みから個人消費に弱さがみられたほか、為替相場の不安定な動向やエネルギー・原材料価格の変動の影響等により、景気の一部に足踏みがみられました。

一方で、企業収益の改善や継続的な賃上げの動き、雇用環境の堅調な推移に加え、訪日外国人旅行者数の増加によるインバウンド需要の拡大等により、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

他方、世界経済においては、各国における金融引き締めの影響やインフレの長期化、地政学的リスクの高まりに加え、中国経済の減速懸念や米国の政策動向等により、不透明な状況が続いております。

このような状況の中、日本においては、様々なコンテンツ等との期間限定コラボキャンペーンを積極的に実施し、集客力の向上を図りました。また、引き続きクレーンゲームに対する需要が高い傾向であることから、多種多様な景品を取り揃え展開いたしました。

米国においては、ミニクレーンゲーム機や音楽ゲーム等の様々なアミューズメント機器の導入を行い、多種多様な景品を取り揃え、売上の向上を図りました。

さらに、アーティストとの期間限定コラボキャンペーンを日米同時開催し、売上の向上に努めました。

加えて、時期を見た戦略的な値上げを実施しております。

また、営業基盤拡大のため、日本において2025年12月に仙台泉店（宮城県）を出店いたしました。米国において2025年12月にウィローブルック店（テキサス州）、2026年2月にメンロパーク店（ニュージャージー州）を出店いたしました。中国において2025年4月に中国初のアミューズメント専門店となる深圳福田IN城市広場店（広東省深圳市）を出店いたしました。

なお、日本において2025年4月に高津店（神奈川県）、2025年8月に枚方店（大阪府）、中国において2025年8月に上海宝山日月光店（上海市）を閉店、広州新塘イオンモール店（広東省広州市）の営業エリアを縮小いたしました。

以上の結果、当連結会計年度における経営成績は、売上収益189,548百万円（前年同期比7.1%増）、営業利益28,773百万円（前年同9.7%増）、税引前利益25,418百万円（前年同10.5%増）、親会社の所有者に帰属する当期利益16,621百万円（前年同7.9%増）となりました。

なお、当社グループが運営する屋内型複合レジャー施設は、長期休暇の多い第2四半期及び第4四半期に売上高が増加する傾向があり、四半期毎で経営成績の偏りが生じます。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(日本)

営業基盤を拡大すべく、新規店舗の出店準備を進めております。また、アーティストやゲーム、アニメコンテンツ等との様々な期間限定コラボキャンペーンを積極的に実施し、新規顧客の獲得に努めました。加えて、引き続きクレーンゲームに対する需要が高い傾向であることから、当社オリジナル景品の拡充や多種多様な景品を取り揃え展開いたしました。さらにボウリングでのリモートイベントや小中学生無料キャンペーンの実施、スポッチャにおいて新アイテムの導入や、一部店舗のアミューズメントコーナーにおいては無料キッズエリアを設置するなどし、幅広い客層の集客を図りました。

以上の結果、ボウリング収入は前年同期比5.9%増、アミューズメント収入は前年同6.2%増、カラオケ収入は前年同6.6%増、スポッチャ収入は前年同5.9%増となりました。

(米国)

引き続きミニクレーンゲーム機の増台や、音楽ゲーム及びリデンプションゲーム等の様々なアミューズメント機器の導入を行いました。また、アーティスト等との期間限定コラボキャンペーンを実施し、売上の向上を図りました。

以上の結果、ボウリング収入は前年同期比8.8%増、アミューズメント収入は前年同9.2%増、飲食・その他収入は前年同9.8%増、スポッチャ収入は前年同0.9%減となりました。

(その他)

ラウンドワンデリシャスプロジェクトの展開準備を行っております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ49,973百万円増加の309,888百万円となりました。この要因は、現金及び現金同等物の増加3,796百万円等による流動資産の増加6,746百万円と、使用権資産の増加20,589百万円、有形固定資産の増加19,514百万円等による非流動資産の増加43,226百万円によるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ34,221百万円増加の227,252百万円となりました。この要因は、その他の流動負債の減少1,825百万円等による流動負債の減少951百万円と、リース負債の増加21,742百万円、社債及び借入金金の増加10,519百万円等による非流動負債の増加35,173百万円によるものであります。

(資本)

当連結会計年度末における資本合計は、前連結会計年度末に比べ15,751百万円増加の82,635百万円となりました。この要因は、親会社の所有者に帰属する当期利益16,621百万円の計上、配当金4,592百万円の支払等による利益剰余金の増加12,028百万円等によるものであります。

この結果、親会社所有者帰属持分比率は26.7%（前連結会計年度末は25.7%）となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における連結キャッシュ・フローの状況は、営業活動によるキャッシュ・フローで60,461百万円増加し、投資活動によるキャッシュ・フローで31,249百万円減少し、財務活動によるキャッシュ・フローで26,147百万円減少しました。これらの結果、現金及び現金同等物は期首と比べて3,796百万円増加しております。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により増加した資金は60,461百万円で、その主な内訳は、税引前利益25,418百万円の計上、減価償却費43,276百万円の計上によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により減少した資金は31,249百万円で、その主な内訳は、有形固定資産の取得による30,468百万円の支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により減少した資金は26,147百万円で、その主な内訳は、長期借入金による22,500百万円の収入、リース負債の返済による30,292百万円の支出、長期借入金の返済による13,787百万円の支出、配当金4,592百万円の支払によるものであります。

キャッシュ・フロー関連指標の推移（日本基準）

| | 2022年3月期 | 2023年3月期 | 2024年3月期 |
|---------------------------|----------|----------|----------|
| 自己資本比率 (%) | 34.4 | 35.7 | 37.9 |
| 時価ベースの 自己資本比率 (%) | 81.7 | 84.0 | 114.4 |
| キャッシュ・フロー対 有利子負債比率 (年) | 2.5 | 2.3 | 1.9 |
| インタレスト・ カバレッジ・レシオ (倍) | 34.1 | 43.8 | 70.3 |

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

① いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

② 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

③ キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

④ 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としております。

キャッシュ・フロー関連指標の推移（IFRS会計基準）

| | 2025年3月期 | 2026年3月期 |
|----------------------------|----------|----------|
| 親会社所有者帰属 持分比率 (%) | 25.7 | 26.7 |
| 時価ベースの親会社所有者 帰属持分比率 (%) | 99.4 | 69.4 |
| キャッシュ・フロー対 有利子負債比率 (年) | 2.5 | 3.1 |
| インタレスト・ カバレッジ・レシオ (倍) | 17.5 | 13.5 |

(注) 前連結会計年度よりIFRS会計基準に準拠して連結財務諸表を作成しております。

親会社所有者帰属持分比率：親会社所有者帰属持分／資産合計

時価ベースの親会社所有者帰属持分比率：株式時価総額／資産合計

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

① いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

② 株式時価総額は自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。

③ キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

④ 有利子負債は、連結財政状態計算書に計上されている負債のうち、利子を支払っている全ての負債を対象としております。

(4) 今後の見通し

今後の当社グループの業績及び事業展開は、様々な事象により大きな影響を受ける可能性があります。当社グループでは以下を主な事項として記載いたしますが、これらは本資料作成日現在において判断したものであります。

① 営業基盤の拡大

<新規出店>

当社グループは来場型の複合エンターテインメント事業を展開しており、継続的に売上の向上を図るうえで、新規出店による営業基盤の拡大は重要な要素です。

現在、日本国内においては、99店舗体制を構築しており、高収益体質を維持できる地域への出店が概ね完了していることから、現在の店舗形態による国内の出店候補地は限定的であります。加えて、昨今の感染症拡大・震災等の経験から、当社グループが安定的な売上を確保するためには、地政学的なリスクを考慮しつつ出店地域をグローバルに分散することが重要であると考えております。そこで、当社グループは、中長期的な成長確保のため、引き続き国内における新サービスの開発と海外への新規出店に積極的に取り組んでまいります。

米国においては、大型ショッピングモールへ59店舗を出店し、利益を確保できる体制を築いてまいりました。当連結会計年度の新規出店は2店舗にとどまりましたが、米国への出店は高い投資効率が認められることから、当社グループ内での投資効率、米国市場の状況を見極めつつ、積極的な出店を行ってまいります。

その他、中国においては、広州市、深圳市の3店舗体制のもと、引き続き収益構造の確立に努めるとともに、収益獲得に尽力してまいります。また、今後の出店においても、同国特有のリスクを見極めたうえで、慎重に検討してまいります。

なお、米国、中国に次ぐ新たな出店候補地域につきましても引き続き検討してまいります。海外出店にあたっては、適切な人材の確保に注力するとともに、「実効性の高い内部統制システムの構築」「不正抑止とリスク回避を徹底したオペレーションの構築」等、ガバナンス体制の強化や海外特有のリスクの検討を十分に行ったうえで、法令を遵守し適時・正確な情報を開示できる体制の整備に努めてまいります。

<新事業>

複合エンターテインメント施設を米国へ展開することで培った運営ノウハウを活かし、ラウンドワンデリシャスプロジェクトとして、国内で最高評価を得た日本食そのままのクオリティを全世界へ展開すべく、まずは米国主要都市にて、新たな営業基盤の拡大にチャレンジいたします。

② 収益構造の改善・確立

日本国内では、若年層の人口減少が進んでおります。また世界的には、テクノロジーの急速な進化によりエンターテインメントの多様化・新規開発が進んでおります。

当社グループは若年層を主たる顧客層とし、ボウリング・アミューズメント・カラオケ・スポッチャといった来場型のエンターテインメントサービスの提供を主たる事業としていることから、ニーズの変化に耐えうる収益構造の確立を重要課題と認識しており、以下の施策を実施してまいります。

『ファン層の拡大』

エンターテインメントの多様化・新規開発がグローバルに進む中、当社グループが競争力のある来場型サービスの提供を継続することで、お客様に当社グループのファンとなっていただくことが収益の確保・向上に必要な不可欠であると考えております。「多店舗展開」「多様なエンターテインメントサービス」「景品の魅力」等が当社グループの「強み」であり、これらの「強み」を維持しつつ「新たな価値を創造し続ける」ことが重要であると認識しております。また、各店舗においては「笑顔と健康とコミュニケーションの場」を提供すべく、様々な媒体とのコラボ企画を実施し、ファン層の拡大を図ってまいります。

『魅力的な景品の開発』

当社グループの主力商品であるクレーンゲームの収益向上を継続的に図るためには、お客様に飽きの来ない魅力的な景品を提供することが、重要な課題であると認識しております。景品の自社開発、多様なクリエイターとの共同開発を進める等、魅力的な景品の開発に努めてまいります。

『新サービスの創出』

当社グループが提供するエンターテインメントサービスと日本食を掛け合わせた新サービスを展開し、事業領域の拡大を図ってまいります。

また、他社との協創による新サービスの開発や、各国の市場にあわせた新サービスの創出にも努めてまいります。

『経営効率の改善・サービスの質の強化』

生産性の向上とエンターテインメントサービスの質の強化の両立が重要課題であり、IT技術の活用などによりこれらの課題を解決することは当社グループの継続的發展に欠かせないものと認識しております。

引き続き「競争力のある業務オペレーションの構築」「インフレへの適切な対応」等の経営課題に取り組みつつ、柔軟で自律的な働き方を可能とする社内文化を構築することでエンターテインメントサービスの質の向上を目指してまいります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

① 利益配分に関する基本方針

当社は、収益の基盤となる当社グループの新規店舗及び既存店舗への設備投資に活用するために必要な内部留保を確保しながら企業価値の長期的な向上を図りつつ、配当性向の目安を概ね25%前後として配当額を調整していくことを基本方針とし、経営環境、業績及び財務体質の強化等を総合的に勘案して株主の皆様への利益還元を図るこ

とを配当の基本としております。

当社は、配当政策を機動的に遂行することが可能となるよう、剰余金の配当の基準日を毎年3月31日、6月30日、9月30日、12月31日の年4回とし、このほかに別途基準日を定めて剰余金の配当をすることができることとしております。

② 当期の剰余金の配当

当期の剰余金の配当については、期末配当金は1株当たり4.5円とし、第1四半期期末配当金、第2四半期期末配当金及び第3四半期期末配当金を加えた年間配当金は1株につき18円とさせていただきます予定です。

③ 次期の剰余金の配当

次期の剰余金の配当については、①の利益配分に関する基本方針に基づいて、特段の事情がない限り第1四半期期末配当金、第2四半期期末配当金、第3四半期期末配当金及び期末配当金は1株につきそれぞれ4.5円とし、年間配当金は18円とさせていただきます予定です。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性及び利便性の向上を図るため、2025年3月期よりIFRS会計基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結財政状態計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2025年3月31日) | 当連結会計年度 (2026年3月31日) |
|-----------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び現金同等物 | 51,154 | 54,950 |
| 営業債権及びその他の債権 | 3,190 | 3,133 |
| 棚卸資産 | 4,908 | 6,175 |
| その他の金融資産 | 2 | 1,719 |
| その他の流動資産 | 5,539 | 5,563 |
| 流動資産合計 | 64,794 | 71,541 |
| 非流動資産 | | |
| 有形固定資産 | 70,268 | 89,783 |
| 使用権資産 | 100,984 | 121,573 |
| 無形資産 | 926 | 1,188 |
| 持分法で会計処理されている投資 | 1,846 | 2,193 |
| その他の金融資産 | 10,504 | 11,076 |
| 繰延税金資産 | 9,504 | 11,574 |
| その他の非流動資産 | 1,085 | 956 |
| 非流動資産合計 | 195,120 | 238,346 |
| 資産合計 | 259,914 | 309,888 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2025年3月31日) | 当連結会計年度 (2026年3月31日) |
|------------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債及び資本 | | |
| 負債 | | |
| 流動負債 | | |
| 営業債務及びその他の債務 | 7,592 | 10,527 |
| 社債及び借入金 | 12,921 | 10,821 |
| リース負債 | 28,049 | 28,666 |
| 未払法人所得税 | 5,230 | 4,295 |
| 引当金 | 120 | — |
| 契約負債 | 5,142 | 5,619 |
| その他の流動負債 | 8,428 | 6,603 |
| 流動負債合計 | 67,485 | 66,533 |
| 非流動負債 | | |
| 社債及び借入金 | 27,776 | 38,295 |
| リース負債 | 88,469 | 110,212 |
| 引当金 | 7,126 | 7,572 |
| その他の金融負債 | 1,634 | 769 |
| 繰延税金負債 | — | 3,338 |
| その他の非流動負債 | 538 | 530 |
| 非流動負債合計 | 125,545 | 160,719 |
| 負債合計 | 193,031 | 227,252 |
| 資本 | | |
| 資本金 | 25,665 | 25,872 |
| 資本剰余金 | 26,341 | 26,606 |
| 利益剰余金 | 31,723 | 43,752 |
| 自己株式 | △20,005 | △20,006 |
| その他の資本の構成要素 | 3,158 | 6,410 |
| 親会社の所有者に帰属する持分合計 | 66,883 | 82,635 |
| 非支配持分 | △0 | △0 |
| 資本合計 | 66,883 | 82,635 |
| 負債及び資本合計 | 259,914 | 309,888 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日) |
|------------------|--|--|
| 売上収益 | 177,057 | 189,548 |
| 売上原価 | 141,995 | 149,800 |
| 売上総利益 | 35,062 | 39,747 |
| 販売費及び一般管理費 | 6,974 | 10,232 |
| その他の収益 | 551 | 682 |
| その他の費用 | 2,397 | 1,425 |
| 営業利益 | 26,240 | 28,773 |
| 金融収益 | 171 | 785 |
| 金融費用 | 3,685 | 4,541 |
| 持分法による投資利益 | 279 | 400 |
| 税引前利益 | 23,007 | 25,418 |
| 法人所得税費用 | 7,601 | 8,796 |
| 当期利益 | 15,405 | 16,621 |
| 当期利益の帰属 | | |
| 親会社の所有者 | 15,405 | 16,621 |
| 非支配持分 | △0 | △0 |
| 当期利益 | 15,405 | 16,621 |
| 1株当たり当期利益 | | |
| 基本的1株当たり当期利益(円) | 57.38 | 63.30 |
| 希薄化後1株当たり当期利益(円) | 57.22 | 63.27 |

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日) |
|---------------------------|--|--|
| 当期利益 | 15,405 | 16,621 |
| その他の包括利益 | | |
| 純損益に振り替えられることのない項目 | | |
| 持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分 | 6 | 0 |
| 純損益に振り替えられることのない項目合計 | 6 | 0 |
| 純損益に振り替えられる可能性のある項目 | | |
| 在外営業活動体の換算差額 | △473 | 3,051 |
| 持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分 | △1 | 7 |
| 純損益に振り替えられる可能性のある項目合計 | △475 | 3,058 |
| 税引後その他の包括利益 | △469 | 3,059 |
| 当期包括利益 | 14,936 | 19,680 |
| 当期包括利益の帰属 | | |
| 親会社の所有者 | 14,936 | 19,680 |
| 非支配持分 | △0 | △0 |
| 当期包括利益 | 14,936 | 19,680 |

(3) 連結持分変動計算書

前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位: 百万円)

| | 親会社の所有者に帰属する持分 | | | | | |
|--------------|----------------|--------|--------|---------|--------------|---------------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | その他の資本の構成要素 | |
| | | | | | 在外営業活動体の換算差額 | キャッシュ・フロー・ヘッジ |
| 2024年4月1日残高 | 25,454 | 26,130 | 20,495 | △10,004 | 3,308 | 2 |
| 当期利益 | — | — | 15,405 | — | — | — |
| その他の包括利益 | — | — | — | — | △472 | △3 |
| 当期包括利益合計 | — | — | 15,405 | — | △472 | △3 |
| 自己株式の取得 | — | — | — | △10,000 | — | — |
| 新株予約権の行使 | 211 | 211 | — | — | — | — |
| 新株予約権の失効 | — | — | — | — | — | — |
| 配当金 | — | — | △4,177 | — | — | — |
| 株式報酬取引 | — | — | — | — | — | — |
| 所有者との取引額合計 | 211 | 211 | △4,177 | △10,000 | — | — |
| 2025年3月31日残高 | 25,665 | 26,341 | 31,723 | △20,005 | 2,836 | △1 |

| | 親会社の所有者に帰属する持分 | | | | | |
|--------------|---------------------------|-------|-------|---------|-------|---------|
| | その他の資本の構成要素 | | | 合計 | 非支配持分 | 合計 |
| | その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産 | 新株予約権 | 合計 | | | |
| 2024年4月1日残高 | 13 | 259 | 3,582 | 65,657 | 0 | 65,658 |
| 当期利益 | — | — | — | 15,405 | △0 | 15,405 |
| その他の包括利益 | 6 | — | △469 | △469 | △0 | △469 |
| 当期包括利益合計 | 6 | — | △469 | 14,936 | △0 | 14,936 |
| 自己株式の取得 | — | — | — | △10,000 | — | △10,000 |
| 新株予約権の行使 | — | △105 | △105 | 316 | — | 316 |
| 新株予約権の失効 | — | — | — | — | — | — |
| 配当金 | — | — | — | △4,177 | — | △4,177 |
| 株式報酬取引 | — | 150 | 150 | 150 | — | 150 |
| 所有者との取引額合計 | — | 44 | 44 | △13,711 | — | △13,711 |
| 2025年3月31日残高 | 19 | 304 | 3,158 | 66,883 | △0 | 66,883 |

当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:百万円)

| | 親会社の所有者に帰属する持分 | | | | | |
|--------------|----------------|--------|--------|---------|--------------|---------------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | その他の資本の構成要素 | |
| | | | | | 在外営業活動体の換算差額 | キャッシュ・フロー・ヘッジ |
| 2025年4月1日残高 | 25,665 | 26,341 | 31,723 | △20,005 | 2,836 | △1 |
| 当期利益 | — | — | 16,621 | — | — | — |
| その他の包括利益 | — | — | — | — | 3,058 | 0 |
| 当期包括利益合計 | — | — | 16,621 | — | 3,058 | 0 |
| 自己株式の取得 | — | — | — | △0 | — | — |
| 新株予約権の行使 | 207 | 207 | — | — | — | — |
| 新株予約権の失効 | — | 57 | — | — | — | — |
| 配当金 | — | — | △4,592 | — | — | — |
| 株式報酬取引 | — | — | — | — | — | — |
| 所有者との取引額合計 | 207 | 264 | △4,592 | △0 | — | — |
| 2026年3月31日残高 | 25,872 | 26,606 | 43,752 | △20,006 | 5,894 | △0 |

| | 親会社の所有者に帰属する持分 | | | | | |
|--------------|---------------------------|-------|-------|--------|-------|--------|
| | その他の資本の構成要素 | | | 合計 | 非支配持分 | 合計 |
| | その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産 | 新株予約権 | 合計 | | | |
| 2025年4月1日残高 | 19 | 304 | 3,158 | 66,883 | △0 | 66,883 |
| 当期利益 | — | — | — | 16,621 | △0 | 16,621 |
| その他の包括利益 | 0 | — | 3,059 | 3,059 | 0 | 3,059 |
| 当期包括利益合計 | 0 | — | 3,059 | 19,680 | △0 | 19,680 |
| 自己株式の取得 | — | — | — | △0 | — | △0 |
| 新株予約権の行使 | — | △96 | △96 | 318 | — | 318 |
| 新株予約権の失効 | — | △57 | △57 | — | — | — |
| 配当金 | — | — | — | △4,592 | — | △4,592 |
| 株式報酬取引 | — | 346 | 346 | 346 | — | 346 |
| 所有者との取引額合計 | — | 192 | 192 | △3,929 | — | △3,929 |
| 2026年3月31日残高 | 19 | 496 | 6,410 | 82,635 | △0 | 82,635 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税引前利益 | 23,007 | 25,418 |
| 減価償却費及び償却費 | 43,756 | 43,276 |
| 減損損失 | 2,000 | 480 |
| 金融収益 | △144 | △253 |
| 金融費用 | 3,664 | 4,493 |
| 持分法による投資損益 (△は益) | △279 | △400 |
| 固定資産除却損 | 253 | 390 |
| 固定資産売却損 | — | 139 |
| 営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加) | 1,236 | 87 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | △677 | △1,085 |
| 営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少) | 780 | 1,534 |
| その他 | △161 | 1,390 |
| 小計 | 73,437 | 75,471 |
| 利息及び配当金の受取額 | 196 | 342 |
| 利息の支払額 | △3,663 | △4,300 |
| 補償金の受取額 | 216 | — |
| 法人所得税の支払額 | △6,230 | △11,053 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 63,955 | 60,461 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △1,984 | △498 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △21,351 | △30,468 |
| 無形資産の取得による支出 | △262 | △401 |
| 敷金及び保証金の差入による支出 | △58 | △225 |
| 敷金及び保証金の回収による収入 | 126 | 336 |
| その他 | △462 | 6 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △23,992 | △31,249 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | △100 | △150 |
| 長期借入れによる収入 | 28,100 | 22,500 |
| 長期借入金の返済による支出 | △9,198 | △13,787 |
| 社債の償還による支出 | △342 | △142 |
| リース負債の返済による支出 | △29,693 | △30,292 |
| ストック・オプションの行使による収入 | 324 | 318 |
| 自己株式の取得による支出 | △10,000 | △0 |
| 配当金の支払額 | △4,177 | △4,592 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △25,088 | △26,147 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △183 | 732 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 14,690 | 3,796 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 36,463 | 51,154 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 51,154 | 54,950 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更)

(資産除去債務の見積りの変更)

当連結会計年度において、不動産賃貸契約に伴う原状回復義務として計上していた資産除去債務について、原状回復費用の新たな情報の入手に伴い、見積りの変更を行いました。

その結果、見積りの変更による増加額331百万円を変更前の資産除去債務残高に加算しております。

なお、当該見積りの変更により、当連結会計年度の営業利益及び税引前利益はそれぞれ303百万円減少しております。

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、当社に経営の意思決定機関を置き、国内外で包括的戦略を立案し、総合アミューズメント事業等を展開しております。

従って、当社グループは、経営及び企画の事業本部を基礎とした各国毎のセグメントから構成されており、「日本」及び「米国」の2つを報告セグメントとしております。

「日本」及び「米国」において国別に屋内型複合レジャー施設の運営を行っております。

(2) 報告セグメントに関する情報

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は以下のとおりであります。

なお、セグメント間の取引は、独立企業間価格に基づいております。

前連結会計年度（自 2024年4月1日 至 2025年3月31日）

(単位：百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注) 1 | 合計 | 調整額 (注) 2 | 連結 |
|------------------------|---------|--------|---------|--------------|---------|--------------|---------|
| | 日本 | 米国 | 計 | | | | |
| 売上収益 | | | | | | | |
| 外部収益 | 102,488 | 73,106 | 175,595 | 1,462 | 177,057 | — | 177,057 |
| セグメント間収益 | — | — | — | — | — | — | — |
| 合計 | 102,488 | 73,106 | 175,595 | 1,462 | 177,057 | — | 177,057 |
| セグメント利益 (△損失) (注) 3 | 17,011 | 11,548 | 28,559 | △2,326 | 26,233 | 7 | 26,240 |
| 金融収益 | 132 | 130 | 262 | 13 | 276 | △104 | 171 |
| 金融費用 | 659 | 2,967 | 3,627 | 109 | 3,736 | △51 | 3,685 |
| 持分法による投資利益 | — | — | — | — | — | — | 279 |
| 税引前利益 | 16,484 | 8,711 | 25,195 | △2,422 | 22,773 | △46 | 23,007 |
| その他の項目 | | | | | | | |
| 減価償却費及び償却費 | 27,710 | 15,512 | 43,222 | 539 | 43,762 | △5 | 43,756 |
| 減損損失 | 994 | — | 994 | 1,005 | 2,000 | — | 2,000 |

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、米国 (Round One Entertainment Inc. 及びその連結子会社2社) を除く海外現地法人の事業活動等を含んでおります。

2. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益 (△損失) は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 当社取締役会では預金(現金、外貨預金除く)及び有利子負債(リース負債除く)についての報告が実施され、意思決定に使用されております。当連結会計年度において、日本セグメントにおける預金31,865百万円、有利子負債40,697百万円、米国セグメントにおける預金9,931百万円、その他セグメントにおける預金1,811百万円であります。なお、在外子会社の預金については期末日レートとは異なる換算レートを使用しているため、報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額で差異が生じております。

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位:百万円)

| | 報告セグメント | | | その他 (注)1 | 合計 | 調整額 (注)2 | 連結 |
|----------------------|---------|--------|---------|-------------|---------|-------------|---------|
| | 日本 | 米国 | 計 | | | | |
| 売上収益 | | | | | | | |
| 外部収益 | 108,689 | 79,662 | 188,351 | 1,196 | 189,548 | — | 189,548 |
| セグメント間収益 | — | — | — | — | — | — | — |
| 合計 | 108,689 | 79,662 | 188,351 | 1,196 | 189,548 | — | 189,548 |
| セグメント利益(△損失) (注)3 | 22,810 | 8,582 | 31,392 | △2,619 | 28,773 | 0 | 28,773 |
| 金融収益 | 343 | 178 | 522 | 604 | 1,126 | △340 | 785 |
| 金融費用 | 880 | 3,401 | 4,282 | 437 | 4,720 | △179 | 4,541 |
| 持分法による投資利益 | — | — | — | — | — | — | 400 |
| 税引前利益 | 22,273 | 5,358 | 27,632 | △2,453 | 25,179 | △161 | 25,418 |
| その他の項目 | | | | | | | |
| 減価償却費及び償却費 | 25,376 | 17,307 | 42,683 | 587 | 43,270 | 5 | 43,276 |
| 減損損失 | 165 | — | 165 | 315 | 480 | — | 480 |

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、米国(Round One Entertainment Inc. 及びその連結子会社2社)を除く海外現地法人の事業活動等を含んでおります。
2. 調整額は、セグメント間取引消去によるものであります。
3. セグメント利益(△損失)は、連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。
4. 当社取締役会では預金(現金、外貨預金除く)及び有利子負債(リース負債除く)についての報告が実施され、意思決定に使用されております。当連結会計年度において、日本セグメントにおける預金36,716百万円、有利子負債48,672百万円、米国セグメントにおける預金7,358百万円、その他セグメントにおける預金5,808百万円であります。なお、在外子会社の預金については期末日レートとは異なる換算レートを使用しているため、報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額で差異が生じております。

(1株当たり情報)

基本的1株当たり当期利益及び希薄化後1株当たり当期利益の算定上の基礎は以下のとおりであります。

| | 前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日) |
|--|--|--|
| 親会社の所有者に帰属する当期利益(百万円) | 15,405 | 16,621 |
| 当期利益調整額(百万円) | — | — |
| 希薄化後1株当たり当期利益の計算に使用する当期利益(百万円) | 15,405 | 16,621 |
| 加重平均普通株式数(千株) | 268,511 | 262,583 |
| 普通株式増加数 | | |
| ストック・オプションによる増加(千株) | 718 | 140 |
| 希薄化後の加重平均普通株式数(千株) | 269,229 | 262,724 |
| 基本的1株当たり当期利益(円) | 57.38 | 63.30 |
| 希薄化後1株当たり当期利益(円) | 57.22 | 63.27 |
| 希薄化効果を有しないため、希薄化後1株当たり当期利益の計算に含めなかった金融商品 | 2024年ストック・オプション | — |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。